

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	4年度
事業名	がん検診事業	担当課	健康づくり課
事業内容(簡潔に)	市民を対象とした巡回健診等によるがん検診の実施		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	元気で健やかに暮らせるまちづくり	
	政策	一人ひとりが、いつまでも健康なまちづくり	
	施策	健康づくりの推進	
関連する個別計画等	健康増進計画	根拠条例等	がん対策基本法、健康増進法、蕪崎市総合健診実施要領

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	○がんを早期に発見・治療できるよう、定期的な検診の必要性を周知・普及啓発を行うことで、市民のがん検診の受診を促し医療費の削減につなげると共に、職場等の健診項目にがん検診がない者に受診機会を設ける。
事業の手段	○7月～10月にかけて、東京エレクトロン蕪崎文化ホール・保健福祉センターにて実施する総合健診の中でがん検診を同時実施する。 ○乳がん検診については、保健福祉センターで実施するバス検診と、委託先医療機関での個別健診を実施。 ○子宮がん検診については、委託先医療機関での個別健診を実施。
事業の対象	○市民で、各種がん検診（肝がん・大腸がん・胃がん・前立腺がん・肺がん・乳がん・子宮がん）の対象になる者。

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	48,107	39,797	45,168
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	8,234	6,910	7,193
	一般財源	39,873	32,887	37,975
B	担当職員数(職員E) (人)	0.31	0.30	0.29
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,082	1,973	1,908
D	総事業費(A+C) (千円)	50,189	41,770	47,076
主な事業費用の説明	各種がん検診の各医療機関への委託料等			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 胃がん検診受診者 (X線・内視鏡)	受診者数(人) 対象者数(人)	947 8,392	817 8,250	750 8,153
	2 大腸がん検診受診者	受診者数(人) 対象者数(人)	1,697 12,436	1,412 12,191	1,496 11,969
	3 乳がん検診受診者 (マンモグラフィ)	受診者数(人) 対象者数(人)	1,378 6,147	1,164 6,039	976 5,916
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づく50～69歳のがん検診受診率の算定対象受診者数。(健康増進事業(がん検診等)状況報告)により集計			
	2	国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づく40～69歳のがん検診受診率の算定対象受診者数。(健康増進事業(がん検診等)状況報告)により集計			
	3	国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づく40～69歳のがん検診受診率の算定対象受診者数。(健康増進事業(がん検診等)状況報告)により集計			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	胃がん検診受診率 (X線・内視鏡) 受診率(%) 〔受診者数/対象者数〕	11.3% (947/8,392)	9.9% (817/8250)	9.2% (750/8,153)
	2	大腸がん検診受診率 受診率(%) 〔受診者数/対象者数〕	13.6% (1,697/12,436)	11.6% (1,412/12,191)	12.5% (1,496/11,969)
	3	乳がん検診受診率 (マンモグラフィ) 受診率(%) 〔受診者数/対象者数〕	22.4% (1,378/6,147)	19.3% (1,164/6,039)	16.5% (976/5,916)
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明		<p>1 がん検診の受診率は、「健康増進事業（がん検診等）状況報告」の報告数値。胃がんについては、全国の受診率（R2：7.0%）と比較すると高いが、県の受診率（R2：10.2%）と比べると低く、R2年度からのコロナ禍の影響もあり減少傾向が見られる。</p> <p>2 大腸がん検診については、全国の受診率（R2：6.5%）や県の受診率（R2：11.7%）と比べると高い状況である。</p> <p>3 乳がん検診については、全国の受診率（R2：15.6%）と比較すると高いが、県の受診率（R2：22.8%）と比べると低く、R2年度からのコロナ禍の影響もあり減少傾向が見られる。</p>			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善（事務的な改善を実施する） <input type="checkbox"/> 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） <input type="checkbox"/> 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） <input type="checkbox"/> 廃止（廃止の検討が必要）		
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	令和4年度の改善計画（今後の事業展開説明） ○新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年度からソーシャルディスタンス確保のため完全予約制により時間を指定のうえ実施しているものの、感染のリスクを懸念した受診控えの影響で受診率の減少が見られた。 ○令和元年度より、AIによるデータを活用した特定健診の未受診者及び継続受診者に対する受診勧奨を開始しており、引き続き、がん検診の受診について効果的な啓発を行う。 ○国保加入者に対し特定健診受診の啓発チラシを配布（7月）、未受診者等に勧奨ハガキ（10月）、広報やHPによる啓発 ○総合健診会場での乳がん検診の受診勧奨、チラシ配布		
改善の経過	○令和元年度は特定健診の不定期受診者と前年度国保加入者に対し、過去の受診傾向の分析に基づく受診勧奨を実施した結果、前年度国保加入者の受診率が28.1%→36.5%へと増加するなど行動変容に成果があった。 参考：前年度国保加入者の受診率 令和元年度 36.5% 令和2年度 35.4% 令和3年度 25.9%		
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の改善案	○令和2年度の健診事業は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ソーシャルディスタンス確保のため完全予約制により時間を指定のうえ実施する予定であるが、受診率については更に低くなることが予想される。令和元年度から開始した特定健診の受診勧奨により、がん検診の受診を継続するよう働きかけを行う。	
	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	評価時の対応	対象外	
課長所見	多くの市民が受診するよう効果的な周知・啓発を行っていく必要がある。		